

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

令和8年度第3回岩手県公共事業評価専門委員会（現地調査）

2 開催した日時

令和8年8月18日（火） 14:50～15:50

3 開催場所

都市計画道路整備事業 都市計画道路上野西法寺線 高善寺（一戸町）

4 出席委員

武藤由子専門委員長、伊藤幸男副専門委員長、阿部伸史委員、松林由里子委員（6名中4名出席）

5 議題等

都市計画道路整備事業 都市計画道路上野西法寺線 高善寺（一戸町）

都市計画課から事業内容について説明があり、現地状況の調査を行った。

■ 専門委員からの主な質疑、意見は次のとおり

（質疑）

近年、馬淵川が氾濫することがあり、本路線は馬淵川を横切ることになるが、浸水区域を通過するのか。

（回答）

本路線は、川からかなり高いところを通るため、浸水の恐れはない。大雨の場合でも安心して通れる道路になっている。

（質疑）

ハザードマップを確認したところ、役場の西側が土石流の警戒区域となっている。本路線への影響はあるか。

（回答）

土石流の影響範囲については、調査を実施しているが、大きな影響はないと考えている。また、山から流入する水に対しても配慮した計画としている。

（質疑）

街路灯が比較的少ないが、今後整備を行うのか。

（回答）

現在は、交差点照明など道路管理上必要なものしか設置していない。街路灯については地域で設置するものであり、商店街等が管理していくこととなる。

（質疑）

工業ゾーンは現在どのような状況か。

（回答）

今後、整備していくところであり、現時点で工業が集積されているわけではない。

（質疑）

擁壁の高さが高くなった場合、側溝はどの高さに設置されるのか。

（回答）

側溝は擁壁の高さに応じて設置する。

（質疑）

側溝の規模はどのような基準で決定しているのか。

（回答）

側溝は、3年確率から10年確率程度の降雨を想定している。流域から流量を算定してそれに対

応できる規模としている。

(質疑)

災害時の避難場所はどこになるのか。

(回答)

役場やコミュニティセンターが避難場所となる。道路の整備により、これらの施設への移動が容易になる。また、役場には避難用物資等も備蓄されているため、本路線は物資輸送路としての役割も担うこととなる。

(質疑)

今回事業費が増額しているが、設計の変更によるものか、物価上昇の影響か。

(回答)

踏切を設置する際に、設備の移設が必要となった。元々は設備を再利用する予定だったが、詳細な調査をする中で再利用できないことが分かり、新たに設備を設置することになり、事業費が増加した。

(質疑)

道路が直角の部分があるが、そのままの状態で供用するのか。

(回答)

シェブロン（矢印標示）を設置するなど、安全対策を講じた上で供用する。

6 会議資料

資料 No. 1 現地調査行程表

資料 No. 2 現地調査箇所位置図及び説明資料

参考資料 令和 8 年度第 2 回岩手県公共事業評価専門委員会の審議概要

※ 会議資料については、行政情報センターへ配架するとともに、県のホームページに掲載します。

7 傍聴人数

一般 0 人 報道 0 社

8 問い合わせ先

〒020-8570 盛岡市内丸 10 番 1 号

岩手県政策企画部政策企画課 TEL：019-629-5181 FAX：019-629-6229

9 アドレス

<https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/hyouka/koukyouhyouka/1099262/1099270.html>

10 その他

政策等の評価について御意見がありましたら、上記問い合わせ先まで FAX 等でお寄せください。今後の専門委員会での審議の参考とさせていただきます。